第

756

믁



1994年1月6日創刊・毎日発行

リーダァスクラブFAXニュース

(1997年) 平成9年 1月31日 金曜日

株式会社「Pシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678 編集発行人:税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

発行所

## 金決算書の種類

Q:私は、今度、会社の経理を担当することになり、「決算書」という言葉をよく耳にするようになりました。決算書とはどの書類のことをいうのでしょうか。

A: 決算書の作成の仕方は法律などによって定められていますが、このような法律では 決算書のことを計算書類(商法)や、財務諸 表(財務諸表規則、企業会計原則)などと呼 んでいます。呼び方は異なりますが、同じ書 類のことだと考えてください。

決算書の範囲は、広くとらえる場合と狭く とらえる場合とで異なりますが、まず、広く とらえた場合の決算書は、①貸借対照表、② 損益計算書、③営業報告書、④利益処分案、 ⑤附属明細書の5種類を示します。一方、狭 くとらえると、①貸借対照表、②損益計算書、 ③利益処分案の3種類となります。

決算書とは会社の決算のときに作成する書類ということですが、営業報告書や附属明細書は決算書そのものというより、決算書の補足資料のような位置づけでとらえることができます。

つまり、普通に決算書というときには、貸借対照表、損益計算書、利益処分案の3つの書類であると考えてよいわけです。その中でとくに重要なのが、会社でのモノの動きの結果を数字で表わした「貸借対照表」と、その理由を説明する「損益計算書」の2つです。







